

アフガニスタンでの母子医療を支援

「ランドセルは海を越えて」の支援先であるアフガニスタンは、政情が不安定で経済的に困窮し、特に妊産婦と子どもたちに対する母子医療が乏しい状況です。その中でアフガン医療連合センター（UMCA/RPA）*が母子専門のクリニックを運営しており、クラレ財団は国際協力NGOジョイセフと連携してその活動を支援しています。

*アフガン医療連合センター（UMCA/RPA）は、クラレの社会貢献活動「ランドセルは海を越えて」において現地の子どもたちへのランドセル配布を担っている団体です。

母子医療の支援内容について

「女性にやさしい医療施設」

アフガニスタンの女性は、宗教的な背景や習慣により女性の医療従事者からしか診療を受けにくい環境にあります。当クリニックでは女性の医師・助産師を含む態勢で、産前産後のケア、施設分娩、避妊薬の提供、予防接種などの医療サービスを提供しています。

「待合室での啓発活動」

待合室では、スタッフが待ち時間を利用して、妊産婦健診や家族計画、感染症予防など母子保健に関連した啓発活動も行います。医療の提供だけでなく、栄養や衛生に関する知識を深め、保健の大切さを理解してもらう取り組みを行っています。



©社内報クラレタイムスより一部抜粋